

8. 人とまちがにぎわう元気なふるさと富田林を創る

(1) 「富田林ミュージアム」の取り組みについて

- ① 市内にある文化財・歴史など、地域資源の魅力発信について
- ② 郷土文化などを学べる拠点施設の設置やWebミュージアムの導入について

【答弁】

市内には、旧石器時代からの遺跡や古墳、飛鳥時代の寺院跡、富田林寺内町に代表される室町時代の町割りや江戸時代からの建造物、歴史ある神社仏閣など、地域資源として魅力ある貴重な文化財や歴史ある遺産が数多く点在しています。

現在のところ、文化財や歴史遺産などの地域資源の魅力発信として、市広報誌やウェブサイト、フェイスブックなどを活用するとともに、昨年度は、新堂小学校、喜志中学校などへの「出前講座」、国の重要伝統的建造物群保存地区拡大選定記念事業での寺内町センターや旧杉山家住宅での展示、市内の村絵図の特別展示や解説、きらめき創造館トピックでの「100万年前・人と自然の石川谷」企画展、公開講座、ハイキング、イオン金剛東店でのパネル展示、きらめきファクトリーでの展示協力、富田林中学校・高等学校での地域フォーラムに参加するなど、既存の公共施設や市内の商業施設、学校などと連携協力し、展示や講座などの啓発に努めているところです。

議員ご質問の「富田林ミュージアム」につきましても、新たな取り組みとして、公共施設のみならず、ご協力いただける民間施設を活用し、市内の文化財や歴史についての写真や解説パネルなどの展示内容を創意工夫し、わかりやすく紹介してまいりたいと思います。また、文化財などの地域資源の魅力発信ツールとして、最近技術が進歩していますバーチャルリアリティ技術などを用いたWebミュージアムなども地域資源の魅力発信、ひいては、シティーセールスの有効な手段の一つであると認識しております。

いずれにいたしましても、本市を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、貴重な文化財や歴史遺産を後世に継承していくためにも、点でなく線をつなぎ体系的に郷土文化などが学べる拠点施設の必要性については十分に認識しております。本格的なWebミュージアムなどの導入も視野に入れ、公共施設再配置計画との整合性を踏まえ、本市の実情と課題を整理しながら、総合的に調査研究してまいりたいと考えています。